

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日銀10月の地域景気判断、8地域で据え置き 北海道のみ下げ

・日銀は10月の地域経済報告(さくらレポート)を公表。全国9地域のうち、北海道で景気判断を引き下げ。その他8地域の判断は据え置いた。関税交渉の進展による不確実性の低下を指摘する声が上がったものの、先行きへの懸念も根強い。インバウンド(訪日外国人)消費の鈍化を指摘する声も。3カ月に1度の支店長会議を開きレポートをまとめた。

◆日経平均終値4万7944円で最高値更新 「高市銘柄」防衛・核融合・宇宙に買い

・6日の東京株式市場で日経平均株価は急伸し、終値は前週末比2175円26銭(4.8%)高の4万7944円76銭と最高値を更新。4日投開票の自民党総裁選で高市前経済安全保障相が新総裁に選ばれ、財政拡張・金融緩和路線を進めるとの思惑から円安・株高が加速。防衛や核融合、宇宙など高市氏が掲げる政策に関連した銘柄に買いが広がった。

◆中国、消費さえず4.6%成長に減速予測 7～9月期エコノミスト調査

・日本経済新聞社と日経QUICKニュースがまとめた中国エコノミスト調査によると、2025年7～9月期における中国の実質国内総生産(GDP)の予測平均値は前年同期比4.6%増となった。消費でこ入れ策が息切れして内需が振るわず、4～6月期の5.2%増から減速すると見込んだ。中国国家統計局が20日に7～9月期のGDP統計を公表する予定。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京電力がEVバスを「蓄電所」に 電力余る昼に充電、再エネの無駄省く

・東京電力ホールディングスはEVバスに搭載する電池の充電を管理して蓄電所のように使うシステムの運用を始める。太陽光などの再生可能エネルギーの発電量や電力需要量の予測と、バスの運行計画を連動させて、電力が余りやすい日中などに効率良く充電。バス会社が電気代を節約、電力需給の調整弁にすることで再生エネの無駄を減らせる。

◆ドローンや空飛ぶクルマ、衛星通信で遠隔操縦 総務省が規制緩和

・総務省はドローンや空飛ぶクルマの活用を促すため電波分野の規制緩和をする。衛星通信や無人航空機による「空飛ぶ基地局(HAPS)」を使い、ドローンなどを遠隔操縦できるようにする。山間部でも電波が途切れず、監視や操縦が可能になる。無人による長距離輸送などの実現を目指す。

◆「災害復興住宅融資」受理実績が246件に 能登半島地震 復旧報告

・国土交通省は9月末時点の能登半島地震からの復旧・復興状況と今後の見通しを公表。2024年9月の豪雨による被災分を含め、二次災害にも直結する緊急性の高い被災箇所の応急対策はすべて終了し、本格的な復旧進む。恒久的な住まいの整備では被災者向けの住宅で必要推計戸数約3000戸のうち累計2880戸程度で用地の確保にめど立つ。

《 注目商品 》

■LIXIL、取替窓「リプラス」に寒冷地向け引き違い窓

・既存のアルミ窓をカバー工法で樹脂窓へと容易に交換できるリフォーム窓「リプラス」から、寒冷地に適した「居室仕様 EWタイプ」を追加して発売。引き違い窓のみ(複層ガラス、トリプルガラス)の設定で、間口の縮小や連段窓には非対応。



■パーパス、業務用排気フード対応形給湯器 デザイナー新

・厨房内に排気ダクトがある地下飲食店などに設置されているエコジョーズ業務用排気フード対応形給湯器をリニューアル。本体色にシルバーメタリックを採用し、給気口カバーをラウンドフォルムに変更。デザイン性が求められる厨房空間に対応。



■ダイケン、高級感のあるグレーカラーのゴミ収集庫クリーンストッカー

・耐久性に優れた高耐食溶融めっき鋼板製のゴミ収集庫。外面はシックで高級感のあるグレーカラーで、落ち着いた空間を演出。上扉の開閉機構に、扉の開閉音が静かな「ロータリーダンパー」を搭載し、開閉音を約25%低減。

